

【厚紙左ページ】

タコ・アワーメーター

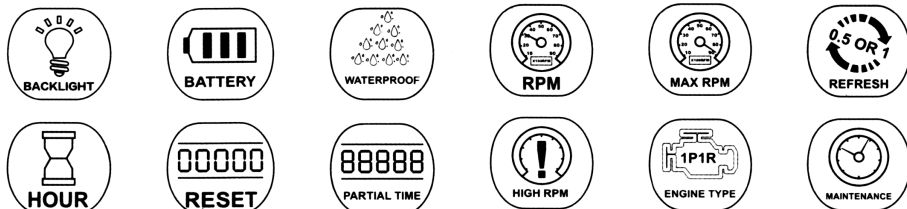
- バックライトディスプレイ
- 電池交換可能(CR2032)
- 防水IP65 防塵6級: 粉塵が中に入らない(耐塵形)  
防水5級: あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない(防噴流形)
- 総稼働時間(TOT)とRPM(エンジン回転計)

- 最高回転数記録
- リフレッシュ(データ表示更新)0.5または1.0秒間隔
- パーシャル時間設定(JOB)
- メンテナンス時間設定(JOB)

アイコン説明

バックライト/バッテリー表示/防水/回転計/最高回数/データ更新時間

稼働時間/リセット可能/パーシャル(部分)時間/回転数アラーム/点火方式設定/メンテナンス時間

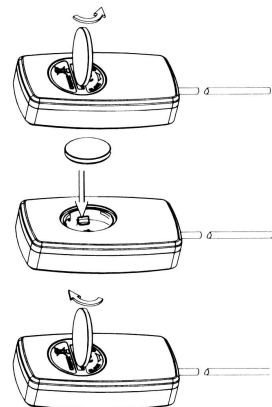


【厚紙右ページ】

メンテナンスとタイマーシステム

注意: ご使用前にまずバッテリーを取り付けてください

- バッテリー取付方法 電池: CR2032 × 1個



①バッテリーカバーを開ける。  
カバーを開ける方向にコインでカバーを回す。(反時計方向)

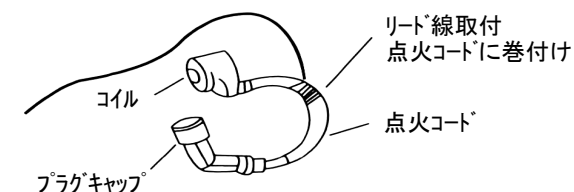
②電池を取り付ける。  
バッテリーを本体に入れます。平らな面を上にして入れます。

③バッテリーカバーを閉じます。  
カバーを閉める方向にコインでカバーを回す。(時計方向)

以前のデータは、電池交換後記録されます。

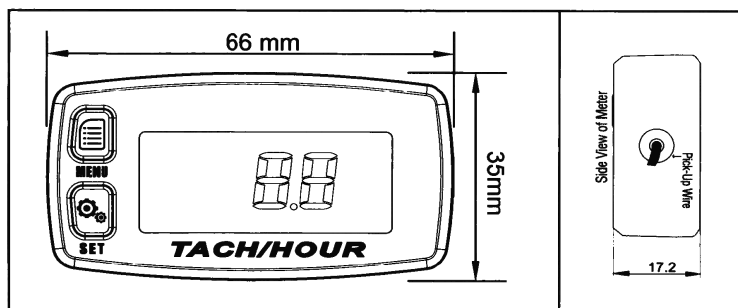
●製品の取付

注意: 詳細な取付方法や製品の使用方法は、パッケージの中の説明書をご覧ください。



本体から出ているリード線のもう一方の側をスパークプラグコードに少なくとも5回巻きつけ、結束バンドで固定します。

注意: ケーブルがしっかりと取り付けられていない場合は、データの精度に影響します。



## 【1ページ】

本説明書を読み、理解してください。  
そして正しく取り付け、使用する前に本機を正しく操作してください。

### 注意

1. 取扱いマニュアルに厳格に従って本機を使用してください。
2. 本体と付属品を分解しないでください。
3. このメーターは防水設計されています。雨の中でも使用できますが、水中では使用できません。
4. 激しい振動や強い衝撃が加わると故障の原因となります。
5. 裏面のバッテリーカバーを間違えて取り付けると前面カバーが曇ったり、水が凝縮したりする。
6. このメーターはバックライトを備えているので電力消費が大きい。バッテリー残量が少なくなったらできるだけ早くバッテリーを交換してください。

### 製品使用法

#### 1. ストロークの設定

①ストローク設定用のインターフェースに入るには、バックライト無しで「TOT」インターフェース状態で「MENU」を6回押します。ストロークインターフェースのデフォルト表示は「1P1R」です。

TOT: Total Operating Time = 総稼働時間

②ストロークインターフェースで「MENU」キーを長押しすると、デフォルトストロークが点滅してストローク設定モードに入ります。「SET」を短く押して選択します。

③モードは次のように設定することができます。P: Pulse(パルス)、R: Revolution(回転)

1P1R=1点火／1回転 クランクピックアップの単気筒車: カブなど。

2P1R=2点火／1回転 旧車ポイント車(A12サニー、トヨタ2T-G)、RZ250など

3P1R=3点火／1回転

4P1R=4点火／1回転

6P1R=6点火／1回転

3P2R=3点火／2回転

5P2R=5点火／2回転

1P2R=1点火／2回転

#### 2. リフレッシュレート(表示更新時間)の設定

①OPTなしのバックライトインターフェースでMENUを7回押して、リフレッシュレートインターフェースに入ります。デフォルトリフレッシュレートは「0.5」秒です。

②デフォルトのリフレッシュレートが点滅して設定モードに入るまで、リフレッシュレートインターフェースで「MENU」キーを長押しします。「SET」ボタンを短く押して選択します。

③リフレッシュレートを設定することができます。1.0(1秒毎リフレッシュデータ)  
0.5(0.5秒毎リフレッシュデータ)

#### 3. RPM表示

①メーターのRPM表示はエンジンの現在の回転数です。

②エンジンが停止すると、LCDは自動的にRPM(回転計)インターフェースからTOT(総稼働時間)インターフェースに自動的に入り、総稼働時間を表示します

#### 4. MAX RPM(最高回転数)

①バックライトのないTOTインターフェースでMENUを5回押して、MAX RPMインターフェースの表示を開始します。MAX RPMメーターの表示は現在のエンジンの最大RPMです。

②エンジンを再始動すると、今回のMAX RPMが前回の値と入れ替わります。

#### 5. RPMアラート設定

①RPMアラート設定インターフェースに入るには、バックライトなしでTOTインターフェースでMENUを4回押します。RPMアラートのデフォルトデータは8500です。

②デフォルトデータが点滅してRPMアラート設定モードに入るまで、RPMアラート設定インターフェースでMENUを長押しします。SETを短く押すとRPMアラート値が増加し、MENUボタンを短く押すとRPMアラート値が減少します。

③実エンジン回転数がRPM警告値より大きい場合、RPM警告アイコンと実際のRPMと一緒に点滅します。点滅: 0.5秒ごとに5回点滅し、次に3秒間停止しこれを繰り返します。

## 6. 全時間 TOTディスプレイ(Total Operating Time＝総稼働時間)

エンジンが停止されるとLCDインターフェースがTOTインターフェースに変わり、総稼働時間が表示されます。

## 7. MENUまたはSETボタンを押すとバックライトが点灯します。2秒後自動的に消灯します。

## 8. ジョブタイマー表示

①バックライト表示なしでTOTインターフェースの状態ではMENUボタンを2回押すと、ジョブ時間が表示されます。

②JOBインターフェース状態でMENUを長押しするとジョブ時間はクリアされます。

## 9. SVC(メンテナンス)サービス時間表示とセッティング方法

①バックライトがないTOTの状態ではMENUを3回押すと、LCDにSVCが表示されます。SVCの作業方法は次のとおりです。

②SVCインターフェースでMENUを長押しすると、SVC時間設定モードに入ります。このとき、画面が点滅し、MENUを短く押すと設定時間が短くなり、SETを短く押すと長くなります。

③SVCのデフォルト時間は20Hです。設定範囲は0～200時間です。設定後、画面は自動的にTOTインターフェースに戻ります。これは、SVC時間が正常に設定されたことを意味します。SVC時間に達すると、画面が点滅して警告します。

④SVCが点滅している時、SETまたはMENUを押してアラートを閉じます。

⑤SVCアラートが閉じられると、メータは自動的に次のアラート・サイクルに入ります。設定時間は前に設定した時間と同じです。

⑥SVC時間を0時間に設定すると、SVC機能が無効になります。

## 10. 低消費電力表示

①バッテリー残量表示は以下の通り



②バッテリーが空になると、バッテリーの交換を知らせるためにバッテリーが点滅します。以前のデータはバッテリー交換後に記録されます。

## 11. エンジンが停止し、どのインターフェースでも10秒間何も操作しないと、LCDは自動的に保存され、TOTインターフェースに戻ります。

### 1. 操作マップ

